

# 大名みえ子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2

電話・FAX 029-284-0761

E-mail toukai@oona-mieko.info

## 3月1日より、2018年度予算を審査する議会が始まります

### 3月議会の日程

3月1日(木) 開会 議案上程

3月9日(金) 代表質問

3月12日(月) 代表質問 一般質問

3月13日(火) 一般質問

3月14日(水)~16日(金) 予算委員会

3月27日(火) 議案審議 閉会

### 東海第二再稼働前提の予算

2月14日、村長より2018年度の予算案について説明がありました。

2018年度の村政の基本姿勢は、「これまでのとりくみからさらに一步踏み込んだ『新たな共生型の地域社会づくり』が『持続可能な街づくり』の実現に必要な不可欠とし、少子高齢化等、社会環境の変化の波に対応した施策を強力に推し進める必要がある」ということでした。

そして、これらを踏まえた5つの「最重点施策」を設定し、「重点かつ優先的」に取り組んでいくとのことです。**第1**子育て **第2**産業振興 **第3**国体 **第4**交流館 **第5**安全安心です。

**少子高齢化等、社会環境の変化の波に対応した施策を強力に推し進める…** この視点は必要ですが、この対応として重要なのは、住民の立場での対応です。現在の安倍政権のもとでの国政は、戦後最悪とも言える国民不在の悪政が推進されています。村政においては国の悪政の具体化ではなく、地方自治体の真価（についての解釈を変えることなく）を発揮して、真に村民のいのちと暮らしを守る施策の展開が求められているとの認識が重要です。

国により社会保障の大幅削減が強行されているもとで、本村も介護保険における要支援者の介護サービスを村が提供すること等が進められていますが、長年大変なご苦勞をされ村を支えてこられた高齢者の方々に、感謝の思いをこめて一人ひとりに見合った丁寧なサービス提供をぜひ心がけていただきたいと思います。本来なら国が十分人と予算を配分して行うべきことですが、安倍政権のもとでは、村が代わって手を抜くことなく行うべきことです。

### もっと誠実に! 住民には「まだ判断できない」と述べ、村予算では「再稼働が前提」?

村長が考える**第5**安全安心の主な取り組みとは、○村内で保管する除染廃棄物等の埋立処分 ○基幹避難所の機能強化としてコミセン駐車場やアクセス道路の整備 ○消防団器具置場の移設再整備とのことです。住民が今望んでいる「安全安心」の中には、「村内に立地する原子力発電所の再稼働はしないほしい」というものがありますが、これに言及はありません。むしろ、再稼働を前提とした広域避難計画(案)が、策定とならない段階で、(案)の推進のためのコミセン駐車場やアクセス道路の整備予算が計上されたことは、村として再稼働を前提とした村民への対応が始められることとなります。

再稼働への村長のこれまでのスタンスは「住民と議会の意見が最重要。まだ判断できない」と、公言されてきましたが、この予算案では、「2018年度村は再稼働を前提とした予算を組む」と公言こそせずに、具体的施策で「再稼働は受け入れていく」ことを示した予算になっていることがわかります。

「再稼働受け入れ」を言葉にせず、予算の側面で事業者にも「再稼働了解」の意思表示することになる本予算案は問題があると考えます。

**※65歳以上の介護保険料、2018・19・20年度据え置きの方角**—村の考え方がまとまり、6億円余りの介護保険基金を活用し、保険料は向こう3年間現行の5,000円/月のままとする方向です。村3月議会にかかってくる。

**※後期高齢者医療保険料は、2018・19年度据え置きが決定**—広域連合議会(東海村:岡崎悟議員)が決定しました。ただし賦課限度額(保険料の上限額)が5万円引上げられ62万円となることは問題です。